

松阪中央総合病院
救命救急センター
開設記念

Emergency and Critical Care Center



Matsusaka
Chuo
General
Hospital



ご挨拶

救命救急センター開設に当たって

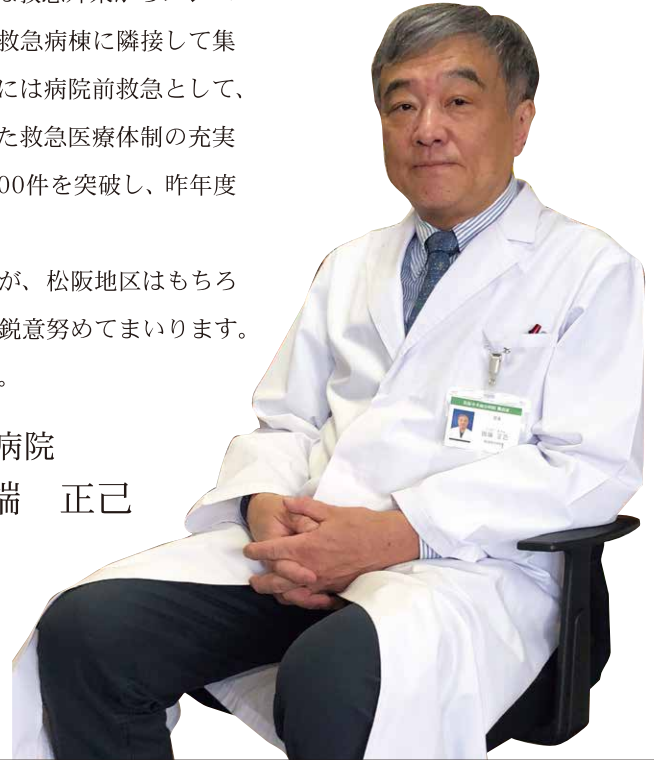
本年10月1日、救命救急センターを開設させていただくことになりました。これも関係者の皆様のご支援、ご協力のおかげと深く感謝いたしております。

当院では2021年10月に本館横に5階建ての新棟を増築いたしました。新棟1階は全てを救急外来に当て(床面積1,066平米)、3階には救急外来からエレベーターで直結する20床の救急病棟を設けました。同時に救急病棟に隣接して集中治療室(ICU)を6床整備しました。さらに2022年8月には病院前救急として、三重県初のドクターカーの運用を開始しました。こうした救急医療体制の充実により、救急搬送受け入れ件数は2022年度に初めて8,000件を突破し、昨年度は8,106件に達しました。

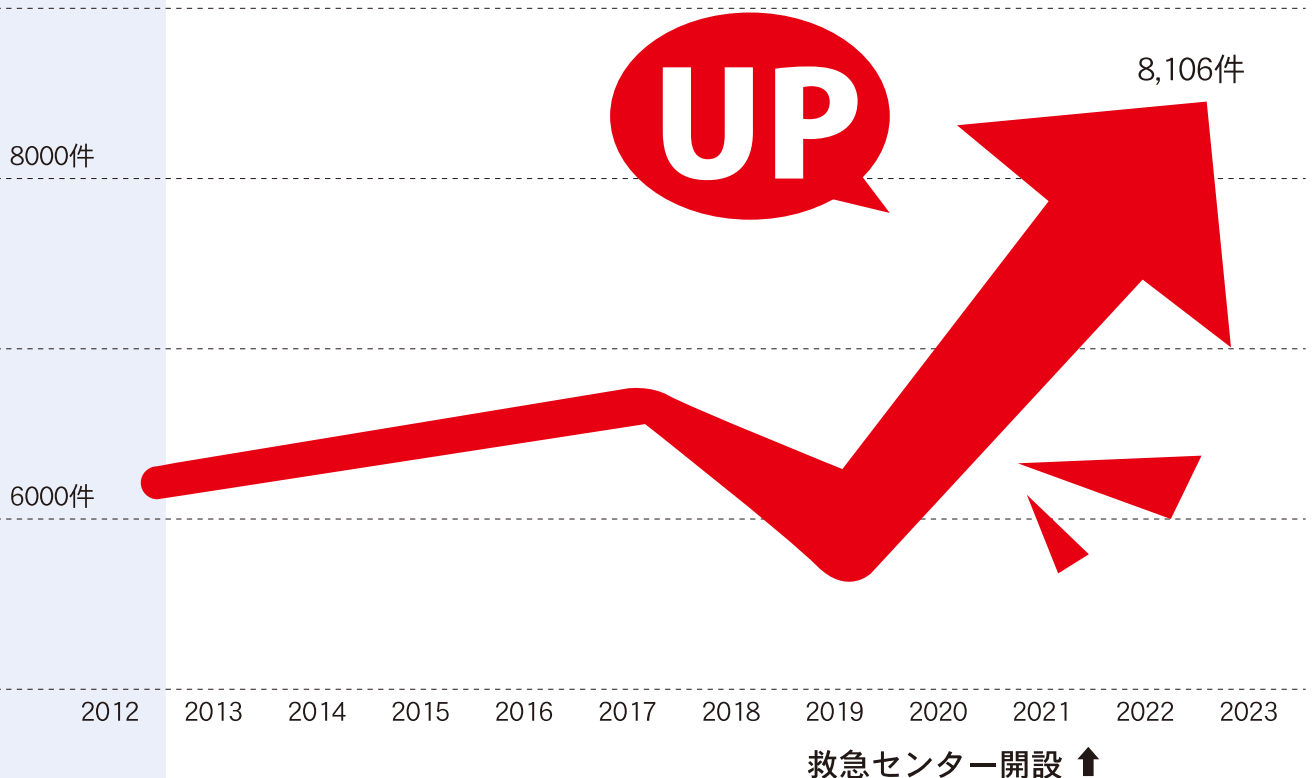
今後は二次救急に加え三次救急を担うこととなりますが、松阪地区はもちろん、東紀州医療圏の重症患者の救命に貢献できるよう、鋭意努めてまいります。引き続きご支援賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

松阪中央総合病院

院長 田端 正己



救急搬送受入件数の推移



高規格ドクターカーを配備





充実の設備で、より迅速な手厚い対応



特定集中治療室（6床）

救急病棟に隣接し、更なる重症例にも対応
スペースも拡大し、医療設備も充実
看護配置は2対1での看護を実施

救急病棟（20床）

救急センターから直通エレベーターで迅速に対応可能
ナースステーションを取り囲むように病室を配置
看護配置は4対1での手厚い看護を実施
陰圧室は5室を設置



救急センター

救急センターは従来の3.4倍の面積
1,066㎡を確保
陰圧室2室 初療・処置室5室
観察室4室 診察室3室 説明室2室
婦人科専用室1室 カンファレンス室1室

初療・処置室も広く、高機能な医療機器を整備





当院では災害に力を入れています。



能登半島地震 | 派遣実績 DMAT 7隊 ロジスティックチーム 2隊

2023年2月6日トルコ共和国南東部で甚大な地震が発生 国際災害支援

入院外来診療機能(外来、入院、手術・分娩、透析)を有した国際緊急援助隊医療チームの一員として、約2週間の派遣活動を行った。
三重県としては、三重大学と松阪中央から各1名計2名の看護師が派
された。
※国際協力機構から感謝状と外務省から表彰を受けました。



第1回三重L-DMAT隊員養成研修 令和6年8月3日～4日



三重県からの委託を受け、ローカルDMAT隊員養成研修を行っています。

MCGH

Emergency and Critical Care Center



松阪中央総合病院
救命救急センター